

## 令和元年度北区社会福祉協議会主要事業 (3月末現在実績)

基本目標 1 気づきあいと思いやりのある地域づくりを進めます。

基本方針 1 福祉サービス制度や地域福祉計画・地域福祉活動計画について、区民への普及・啓発を一層進めます。

6 地域福祉推進フォーラム . . . P.1

基本方針 2 地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。

3 地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業 . . . P.9

基本目標 2 助けあい、支えあう地域づくりを進めます。

基本方針 1 地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。

6 自治・町内会長地域福祉研修会の開催 . . . P.15

基本方針 2 福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。

2 サマーボランティアスクール（ボランティア体験学習） . . . P.23

3 ボランティアきっかけづくり講座 . . . P.25

4 地域福祉座談会 . . . P.28



## 【令和元年度 北区地域福祉推進フォーラム】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【アンケート結果（全体の満足度）より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フォーラム全体の印象としては、88%の方が「大変よかった」「よかった」との印象を持っていただいた。</li> <li>○基調講演「全員参加の共生社会をめざして」～あなたが必要だ！と言えるまちづくりを考える～の印象としては、85%の方が「大変よかった」「よかった」との印象を持っていただいた。</li> <li>○シンポジウム「住み続けたいと思う地域づくりのために」～私たちひとりひとりができることを考える～の印象としては、85%の方が「大変よかった」「よかった」との印象を持っていただいた。</li> </ul> <p><b>【アンケート結果（今後希望するテーマ）より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症について、認知症と家族支援について。</li> <li>○引きこもりに関すること。</li> <li>○一人暮らし世帯の支援、一人暮らしの過ごし方。</li> <li>○現実に助け合いをどのようにやっているか。実践者の話。</li> <li>○子育て支援について。こども食堂のあり方。</li> <li>○在宅医療についてよりテーマを深めて。</li> </ul> <p><b>【アンケート結果（ご意見・ご感想）より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基調講演よかった。体験から出てくる話は大いに共感を持ちました。具体的な例は参考になります。</li> <li>○地域の周りの人のためになっていると感じられた時に、自分の居場所はここだと思えるのだと思いました。</li> <li>○このような話し合いの場、話の内容がより多くの人に聞いていただけることが重要と思います。</li> <li>○ござれやネットについて、地域のために医師や介護施設の方々が活動していることに住民として心強く思いました。</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<p>アンケート結果から、身近なテーマ、分かりやすい講演、フロアとのやりとりに、高い評価をいただいた。また、より多くの区民に参加し考えてほしいとの意見が多く寄せられた。より多くの区民が自身の地域のこととして捉えられるテーマの設定と周知方法の検討、参加の推進が課題としてある。</p> <p>「今後希望するテーマ」からは認知症、引きこもり、一人暮らし、身近な実践事例、子育て支援、在宅医療等のキーワードが得られたので、今後も時勢に合った内容で、多くの区民に参加してもらえよう開催していく。</p>

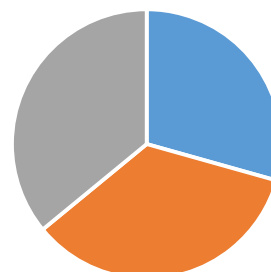
## 令和元年度 北区地域福祉推進フォーラム アンケート集計結果

開催日時	令和元年11月2日(土) 13:00~16:00
開催場所	新潟市北区文化会館ホール
来場者数	300名
回収数	167名

### <質問1. 性別と年齢を教えてください。>

#### <性別>

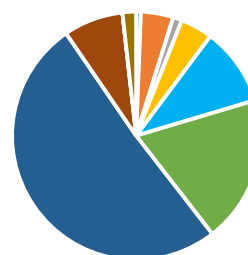
項目	人数	割合
男性	49	29%
女性	58	35%
無回答	60	36%
計	167	100%



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

#### <年齢>

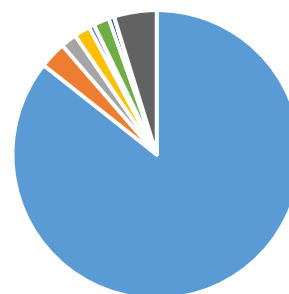
項目	人数	割合
10代	1	1%
20代	7	4%
30代	2	1%
40代	7	4%
50代	17	10%
60代	32	19%
70代	85	51%
80代	13	8%
90代	0	0%
無回答	3	2%
計	167	100%



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代  
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代  
■ 90代 ■ 無回答

### <質問2. お住いの地域を教えてください。>

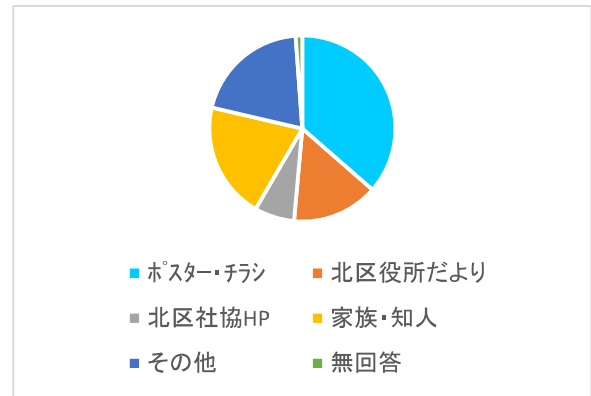
項目	人数	割合
北区	143	86%
東区	5	3%
中央区	3	2%
西区	3	2%
南区	1	1%
秋葉区	3	2%
江南区	1	1%
西蒲区	0	0%
新潟市外 (新発田市・阿賀野市・聖籠・弥彦)	8	5%
計	167	100%



■ 北区 ■ 東区 ■ 中央区  
■ 西区 ■ 南区 ■ 秋葉区  
■ 江南区 ■ 西蒲区 ■ 新潟市外

<質問3. 令和元年度北区地域福祉推進フォーラムをどこでお知りになりましたか。(複数回答)>

項目	人数	割合
ポスター・チラシ	63	36%
北区役所だより	26	15%
北区社協HP	12	7%
家族・知人	35	20%
その他	35	20%
無回答	2	1%
計	173	100%

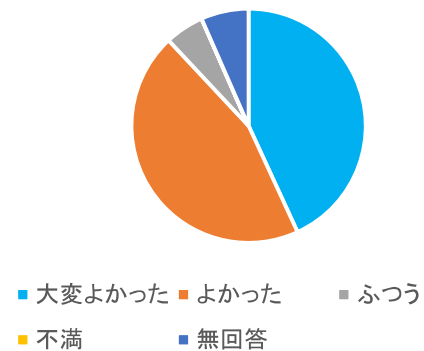


- ポスター・チラシを見た場所: 北区役所・新潟市総合福祉会館・豊栄地区総合体育館  
北区社協・コミュニティセンター・自治会・職場
- その他: 民児協定例会・社協からの案内・敬老会・町内広報誌・自治会活動を通じて

<質問4. 今回のフォーラムについて、感想をお聞かせください。>

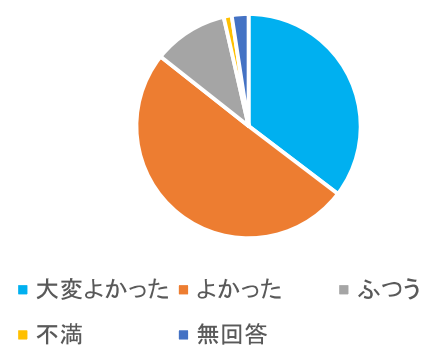
①フォーラム全体の印象はいかがでしたか。

項目	人数	割合
大変よかった	72	43%
よかった	75	45%
ふつう	9	5%
不満	0	0%
無回答	11	7%
計	167	100%



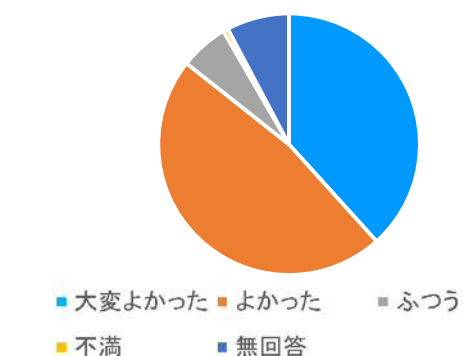
②基調講演「全員参加の共生社会をめざして」～あなたが必要だ！と言えるまちづくりを考える～はいかがでしたか。

項目	人数	割合
大変よかった	59	35%
よかった	84	50%
ふつう	18	11%
不満	2	1%
無回答	4	2%
計	167	100%



③シンポジウム「住み続けたいと思う地域づくりのために」～私たちひとりひとりができることを考える～はいかがでしたか。

項目	人数	割合
大変よかった	64	38%
よかった	79	47%
ふつう	10	6%
不満	1	1%
無回答	13	8%
計	167	100%



<質問5. 今後、フォーラムや講座で取り上げてもらいたいテーマをご記入ください。>

- ・子育て支援について。保育料無償化でどう社会が変わるか。こども食堂の在り方。
- ・看取りについて。
- ・高齢者、障がい者、児童3つの視点からの連携について。(分野ごと・地域との関わり)、引きこもりの方々の支援と役割づくりについて。
- ・活動を実際やっている先生が話したのでよかったです。
- ・事例発表を中心に。
- ・災害に関する。
- ・認知症について。
- ・老若男女を問わず身近から和を広げて行く。
- ・今回のように地域包括ケアシステムをテーマとしたもの。
- ・引きこもりに関する講座。年々増加しているように感じます。
- ・自治会等の役員をどのように選考しているか、次世代に対しどのように接しているか。
- ・認知症と家族の関係。
- ・在宅医療の重要性。
- ・地域の求める人物像。安心して暮らせる地域社会を作っていく中での。
- ・少子化対策。なぜ子供が増えないのか。
- ・一人暮らしの支援の仕方。現在受けたことない。
- ・話しは基本的に施設に恵まれているが、不安をなくすための社会的な整備もっと具体的に。
- ・避難弱者の地域での取り組み等。
- ・少子高齢化問題。
- ・移動支援のやり方。
- ・現実に助けあいをどのようにやっているか、やっている人がいたらお話を聞きたい。きっかけ等、どのように。
- ・ひとり暮らしの過ごし方、さびしさが深まり人生の目的がもてず、プチうつ状態です。どうしたらよいか教えてほしい。次回のテーマで。
- ・今回のように区民が一つに考える、理解する内容が良いと思います。
- ・今回のように北区内での共有しなければならないことについて。
- ・各地区のユニークな活動の紹介。
- ・社会福祉への参加者の発掘と教育。
- ・少子化、若い世代の人たちの減少と高齢者世帯の増加、老人たちだけで支えあう地域になりかねない。
- ・6に合う講座を願いたい。
- ・もっと深い在宅医療。
- ・高齢者社会が進む中で、生活の基盤となる年金問題、制度改革が進む中で大きな問題として取り上げる。(老後の身近な問題も大切ですが、今日を生きるための生活費も重要であると思うから)

- ・ 移送サービスや、外出支援(デマンド等)について、住民と行政の役割分担と課題について。
- ・ 介護・老後・終活について。
- ・ 災害発生時の要援助・要支援者へのサポート方法。避難の際、避難所でのサポート。
- ・ 引きこもり関係。
- ・ もっと広報方法を広げてほしい。
- ・ 今回のように町づくりの観点から見た福祉を取り上げてほしい。

#### <質問6. ご意見ご感想をご自由にお書きください。>

- ・ 3人のシンポジストの話はわかりやすかった。事例に基づく報告・発表がわかりやすく、説得力がある
- ・ 新潟医療福祉大学の学生が多く北区に在住しているが(アパートで)、この学生たちがもう少し住んでいる地域の活動に参加してもらえるように学校側からも働きかけてもらえないだろうか。
- ・ とてもよいフォーラムでした。福祉関係(保育士)の仕事をしていますが、またフォーラムにぜひ参加したいと思っています。また、ボランティアにも関心がありますので、何かあったらしてみたいと思います。今日はありがとうございます。
- ・ 出席して大変よかったですと思いました。
- ・ まだ深く考えていなかった。自分なりに考えないといけないと思った。
- ・ サロン(茶の間)の役員としてお手伝いさせてもらっていますが、自分自身の勉強となりとても癒されて行動します。今日はことさら考える良い機会でもありました。ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 今日来て話を聞いてよかったです。
- ・ 松田先生の話は勉強になりました。全体にお話が長いと思います。
- ・ オッサンズ活動、頼もしいですね。
- ・ この会に来られて知らないことを知りました。とてもよかったですと思います。
- ・ 介護が他人ごとではない年齢に向かっているので、今から夫婦で話し合う必要を感じました。
- ・ 福祉サービスの利用者等が地域において果たせる役割を探し、作り、それを支援すること、その通りだと思えます。障がい者の支援を始めたばかりですが、認知症の高齢者にもできる役割がもっとあるはず。「君が必要だ！」いたく共感しました。
- ・ 終末医療、最後まで自宅で... 地域で頑張って支えて下さる先生方に感謝です。最後は自宅でそうなりたいですね。それができたら大変幸せなことです。なかなかそれを受け入れる家族の気持ちを思うと難しい。
- ・ 地域でそれぞれができることで活躍することが大切だと気付いた。
- ・ 大変参考になった。
- ・ 手を出す勇気が必要だと思いました。
- ・ 地域の周りの人のためになっていると感じられた時に、自分の居場所はここだと思えるのだとつくづく思いました。
- ・ 地域に帰って本日勉強させていただいた事を行動に移したいと思っています。
- ・ お手伝いできること、便利屋の仕事内容を参考に応援できますね。自治会でできることが多いと思います。オッサンズ、ベンリーナ、シルバー人材センター
- ・ 基調講演よかったです。体験から出てくる話は大いに共感もちました。具体的な例は参考になります。
- ・ 松田先生や山口先生のような熱い想いと思いやりをもった先生がたくさんいられたらいいなと思います。老若男女が集う場所が大切だと思っています。できることからやっていきたいと思いました。
- ・ 参加者が昨年より少ないので残念です。周知の方法等もっと考えてほしい。

- ・講演中にパラパラ入場するのは、いかがなものか。
- ・このような話し合いの場、話の内容がより多くに人に聞いていただけることが重要と思います。
  - シンポジウムの中で、4人で各自を紹介してから話題になるので、大変なことだなあと思った。これらの話し合いの人のことを考えてほしい。こんなことが北区にもやっているのですね。各先生方の事大変、今後の生活に対して大変よかったです。また、医療の話とか私たちのこれからの生きて行く前に必要な事、大変有難う。
- ・現役の若い人に参加をしてほしい。訪問支援。マーチングバンドが一番よかったです。
- ・介護施設、介護の用具の利用について、保険料を納めているが自己負担が相当かかるので、介護給付は利用できないと嘆いている人がいる。
- ・テーマだけでなく、フォーラムの構成もよかったと思う。最後にジュニアマーチングバンドの演奏を聞いたのもよかったと思う。
- ・とてもよい会で、意義あるものでした。とてもわかりやすかったです。
- ・家族の中でも、友人の中でも、必要だと思われることが子どもの良育にも役立つ。年をとっても少しでも人に対して役だつ人に！
- ・毎年参加しているけど大変勉強になった。
- ・大変よかったです。2件
- ・ありがとうございました。
- ・なぜ、在宅が良いのか。まだ覚悟がありません。色々な気持ちがあってもよいのでは。
- ・お互いさまの気持で、自分ができることで地域に恩返し・恩送りするという気持ちが大切だなと感じました。ありがとうございました。
- ・地域の支えあいのしくみづくりの支援を得たい。推進員さまに相談に伺いたいと思います。
- ・大学の先生の講座は少し難しい。もう少しかみくだいて説明していただいたら良かった。
- ・老後の暮らし方の難しさが淋しい。一歩足を進めることが大変に思う。
- ・自分の地域に思ったこと参考になった。
- ・全員参加型の地域づくり... 時間がかかってもぜひ実現したいですね。とても有意義なフォーラムでした。ありがとうございました。
- ・「君が必要」この言葉、心にしみました。松田先生の医療の話をもう少し深く聞きたいと思いました。
- ・よりよい地域づくりをするために、みなさんからいろんな話を聞いてよかったです。支え合いのしくみづくりが、もっと興味を持ってもらえたと思いました。在宅医療の大切さも理解できました。
- ・前回？防災もよいと思いました。北区の現状を知りこういう人もいるとわかることも大事と感じました。
- ・最後の「あんたが必要と言われる社会」の言葉が心に残ります。少しでも協力できるよう頑張っていきたいと思います。
- ・かかりつけ医の話聞いて、会社の方々にもぜひお話をしあげようと思います。知り合いの方のお話も聞けてよかったです。
- ・今住んでいる地区(町内)は新しく、周りに1人暮らしのお年寄りも高齢者もあまりいないが、近い将来、私を含めて必ず高齢者のたくさんいる街になります。とても興味深く話を聞きました。
- ・近所で、お互いさまと思える信頼関係を得るまでの過程が、気長い声掛けや挨拶等で、助けてもらう気になれる、他人の噂話等は絶対しない、明るい話で楽しい話で... と思うが中々... 根気よくやるしかない。
- ・在宅医療・介護の大切さはよくわかる内容だったと思います。ただ、現実的に昭和初期のような家族構成の家庭はほとんどない中で、おひとり様の高齢者でも可能になってきているとは思えないのも事実だと思います。
- ・ござれやネットを初めて知りました。地域のために医師や介護施設の方々が、研修や情報交換をしてくださっているのは住民としてはとても心強く思いました。



- ・ 基調講演は、今後の問題について大切なことを話されているのですが、早口のためちゃんと理解する前に次のところに移っているところもあったように思えます。日頃真剣に考えることがないようなテーマを、自分自身考える機会を与えていただきありがたいことだと思いました。
- ・ たくさんの情報がこれからの活動に役に立つ情報交換、交流が大切だと感じた。
- ・ かかりつけ医の信頼関係があれば、往診してもらって最後まで看取られることがわかりました。
- ・ 最近、空き家や空き地が増えているように感じます。シャッター通り商店街と言われて久しい、買物、除雪など困難は人たちが増加しているように実感しています。この傾向は止まらないと思うので、対策が急務かと思いますが。
- ・ 先日、NHKテレビの人気番組で「発達障がい」をテーマとした番組がありました。障がい者本人も出演しインタビューがありました。番組のような例は稀かもしれませんが、障がい者をもっと取り上げてもらい、理解を深め、本当の共生社会をめざしていただきたい。
- ・ とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 今回は身近な問題で、大変わかりやすくよかったです。
- ・ 現実の世なので大切なことである。
- ・ フォーラム出席者は高齢者が多い。(ほとんど)もっと若い方々の出席を望みます。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 知らない活動を行っている方々が、いるということがわかった。在宅医療についてわからなかった部分が多く分かった。
- ・ すばらしいシンポジウムでした。
- ・ 他区からの参加を認めてもらい感謝です。北区は住民、ボランティア、社協、推進員の関係はとてもよいと以前から思っております。年に何回か参加させていただき、今日もお世話になり自分の区や地域に活かしたいと思えます。ありがとうございました。
- ・ 北区の素晴らしさ、街づくりに向かう思いの強さを再認識いたしました。
- ・ 各自一人ひとりが主体性を持って、小さくともできることから行動していく大切さを学びました。「マーチングバンド」にかろうじて男の子が残っていたので安心しました。素晴らしい演奏とパフォーマンスでした。
- ・ 休憩時間のバックミュージックの選曲や、パワポでの北区社協活動の紹介などがあってもよかったかなと思います。内容は「王道」と言えるもので、とてもよかったと思います。
- ・ 民生委員の役目をしていることで、こういう機会を得ることができるように思えます。これからもいろんな機会に出て行ける自分でいたいと思えます。
- ・ ジュニアマーチングバンドとよさかの演奏もとてもよかった。
- ・ 参加して大変よかった。
- ・ あなたが必要だといわれて、今までやってきました。今後もそうやってやって行こうと思っています。
- ・ 人生100年の時代です。自然災害が年々増加する中、地域で支えあう地域の取組みを具体的に考える時期と思っています。行政との連携を期待します。
- ・ 本人を中心としたささえ合いと言いますが、私の場合介護を経験した者として、発表は少し理想的な部分が多いように思いました。
- ・ 川澄さんの恩送りお話し、よかったです。人のために何かできること、行動に移したいです。
- ・ 地域で暮らす、それぞれが役割を持つ、ということの大切さを学ぶことができたこと感じました。

令和元年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 1	気づきと思いやりのある地域づくりを進めます。			
基本方針 2	地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。			
	事業名	地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業 (支え合いのしくみづくり出前講座)		
事業目的・対象	<p>【目的】地域包括ケアシステム構築の背景や、支え合いの手法について理解を深め、支え合いの意識を醸成するとともに、地域での支え合いのしくみづくりの取り組みのきっかけになるように出前講座を開催する。</p> <p>《講座内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支え合いのしくみづくりと地域包括ケアシステム</li> <li>2. 地域の居場所（地域の茶の間・サロンなど）</li> <li>3. 訪問型生活支援（ちょっとした生活の困りごとのお手伝い）</li> <li>4. 地域交流（自治会行事など）</li> <li>5. 見守り・安否確認</li> <li>6. 支え合いのしくみづくり座談会</li> </ol>			
実施内容				
実施日	団体名・会議名／会場	圏域	内 容	人数
4/7 (月)	J C（一般社団法人にいがた北青年会議所） 勉強会 ／町北幸	北 区	<p>【講義】 「最期まで暮らしたい地域づくりに向けて」～見つけよう！自分にできること～</p> <p>【講師】 松田内科呼吸器科クリニック 松田先生</p> <p>【説明】 ・在宅医療・介護連携ステーション北について ・支え合いのしくみづくりの取り組みについて</p>	24 名
4/17 (水)	太郎代の茶の間 ／太郎代自治会館	松 浜 南 浜 濁 川	<p>【講話】 茶の間の立ち上げ方と茶の間の役割について</p>	10 名
5/8 (水)	みなとサロン横土居 ／横土居公民館	葛 塚 木 崎 早 通	<p>【講話】 「茶の間の役割」</p> <p>【グループワーク】 助け合い体験ゲームを活用して、生活上の困りごと、あったらいいな、この先心配なことについて</p>	20 名

5/10 (金)	喜楽会 ／尾山団地公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 「尾山団地はどんなところか？良い所、悪い所」	32 名
6/22 (土)	葛塚中央コミュニティ 協議会 支え合いの地域づくり 座談会 ／白新町公民館	葛塚 木崎 早通	【説明】 一人暮らし高齢者の困りごとの実態と自治会との連携について 【支え合いの地域づくり座談会】 テーマ 「支え合える地域（自治会）にしていくためには」～一人暮らし高齢者の抱える生活上の困りごとへの対応について～	28 名
6/23 (日)	高森新田自治会 地域の茶の間 「ふれあい福祉」 ／高森新田公民館	岡方 長浦	【講話】 「支え合いのしくみづくりと地域包括ケアシステム」「地域の茶の間の役割と効果」 【ミニ座談会】 講話の感想など	11 名
7/13 (土)	『濁川地区の支え合い について考えよう』（研修会） ／濁川公民館 2 階ホール	松浜 南浜 濁川	【講話】『支え合いのしくみづくり』の 目的と意義 【講義】 『支え合いのしくみづくり』を推進するために～私たちの地域でできること～ 講師：松田内科呼吸器科クリニック 院長 松田 正史先生 【感想会】	45 名
7/30 (火)	北区民生委員児童委員 連絡協議会 地域福祉部会研修会 ／松潟屋	北区	【講話】 第1層・第2層支え合いのしくみづくり 進捗状況、各地域の取り組み報告（茶の間・訪問B） 【意見交換】 報告を受けての意見交換 【懇親会】	16 名
7/16 (火)	十二自治会さくら会 ／十二ふれあいセンター	岡方 長浦	【講話】包括と保健師と共催 支え合いのしくみづくりと地域包括ケアシステム	10 名
8/21 (水)	西名目所老人クラブ茶 の間 ／西名目所自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】茶の間の役割と効果	25 名

9/20 (金)	ささえ愛ネット・ボランティア講座（交流会） ／早通健康福祉会館	葛塚 木崎 早通	【講話】 ボランティアってなんだろう ボランティア・市民活動センター ボランティアコーディネーター 白倉 【ささえ愛ネットの 立ち上げの経緯について】 早通地域コミュニティ協議会 会長 清水博恭 様 【ささえ愛ネットの活動状況について】 ささえ愛ネット 代表 上村 洋一 様 【意見交換】 ～おしゃべりタイム～	20 名
10/19 (土)	第 2 回葛塚中央コミュニティ協議会 支え合いの地域づくり 座談会 ／白新町公民館	葛塚 木崎 早通	【事例発表】 地域活動の取り組みの事例発表 上黒山四地区自治会 オッサンズ 代表 川澄 昂 様 【支え合いの地域づくり座談会】 テーマ「支え合える地域（自治会）にし ていくためには」 ①アンケート調査の説明 松田正實会長 ②グループによる話し合い テーマに そって (A) (B) について話し合う (A) あなたの自治会に困りごとのある 高齢者がいたらどうしますか (B) 問題点	33 名
11/16 (土)	濁川地区部会主催 第 2 回「濁川地区の支え 合いについて考えよ う」研修会 ／濁川連絡所 2 階ホー ル	松浜 南浜 濁川	【活動事例の紹介】 「自治会で取り組む見守り活動」 川西 3 丁目自治会 自治会長 池田 三郎 様 新元島町自治会 社会福祉部部長 岡 正美 様 【グループワーク】 自治会で行う見守り活動について考えよ う あなたはどのような見守りができますか？	39 名
11/19 (火)	「木崎地区の支え合い 助け合いについて考え る」座談会 ／木崎コミュニティセ ンター ホール	葛塚 木崎 早通	【講話】 「支え合いのしくみづくりの必要性につ いて」 【グループワーク】 地域の中での困りごとの解決方法を考え てみよう 自治会として何ができるか、自治会以外 (団体・個人など) で何ができるか	37 名


11/24 (日)	令和元年度第 1 回柳原 自治会 支え合いの地域づくり 座談会 ／柳原公民館 (ふれあい館)	葛塚 木崎 早通	【講話】 「支え合いのしくみづくりの必要性につ いて」～地域の取り組み事例紹介～ 【支え合いの地域づくり座談会】 テーマ「手助けを必要な人が声を出し支 え合える地域にしていくためには」 ～困りごとに対してどのように対応しま すか～	50 名
11/26 (火)	太田ちいきコミュニテ ィ協議会 なじらね隊員研修会 ／太田古屋	葛塚 木崎 早通	【説明】 「太田地区高齢者見守り活動 訪問マニュアル」 「ボランティア活動保険」について	12 名
11/28 (木)	川端町自治会 支え合いのしくみづく り出前講座 ／川端町公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 「北区内見守り・助け合い活動事例」の 紹介	8名
11/30 (土)	正尺自治会 支え合いのしくみづく り出前講座 ／正尺公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 「支え合いのしくみづくりの必要性につ いて」 ～地域の取り組み事例紹介～	20 名
12/10 (火)	中嘉山団地自治会 お茶の間サロン ／中嘉山団地公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 「新潟市地域包括支援センターくずつ か」の紹介 「支え合いのしくみづくり」の 目的と意義	23 名
12/26 (木)	西名目所老人クラブ 茶の間・西名目所自治 会役員 ／西名目所自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】地域の茶の間について	5名
1/15 (水)	西名目所老人クラブ茶 の間 ／西名目所自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】地域の茶の間の 立ち上げについて	20 名
2/5 (水)	南浜地区部会主催 区長説明会 ／南浜連絡所	松浜 南浜 濁川	【説明会】 南浜地区部会主催南浜地区の支え合いに ついて 考えよう(研修会)開催に向けて	17 名
2/6 (木)	サロンみちくさ ／川端町自治会館	葛塚 木崎 早通	【講話】認知症の対応について	5名
2/21 (金)	松浜みなと長寿会 ／松浜みなと自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】茶の間の役割と効果	7名

3/8 (日)	南浜地区部会主催南浜地区の支え合いについて考えよう (研修会)	松浜 南浜 濁川	<p>【講話】 『支え合いのしくみづくり』の目的と意義</p> <p>【講義】 『支え合いのしくみづくり』を推進するために ～私たちの地域でできること～ 講師：松田内科呼吸器科クリニック 院長 松田 正史先生</p>	名
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期				
合 計				約 517 名

## 【地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業】

<p>事業の評価 担当者の所感 より</p>	<p><b>【支え合いのしくみづくり出前講座より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主催者の実施ニーズに基づき、各圏域の支え合いのしくみづくり推進員が主催者と打合せを行い、オーダーメイドで講座を開催している。</li> <li>○アンケート調査等は実施していないが、支え合いのしくみづくり推進員が地域に出向き区民と接した時の感覚として、支え合いのしくみづくりの必要性を含め、認知度は広まっていると思われる。</li> <li>○具体的に何かに取り組もうという意識が見え始めている地区もある。</li> </ul> <p><b>【令和元年度 「助け合いの学校 i n 岡方」 アンケート結果より】</b></p> <p>令和元年2月4日（火） 岡方コミュニティセンター 参加者35名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講座の満足度としては、96.1%の方が「とてもよかった」「まあまあよかった」と回答いただいた。</li> <li>○「講座を受けて、助け合いをお願いしたいと思ったか」の問いには、80.7%の方が「思う」と回答した。</li> <li>○「講座を受けて、実際に助け合い活動に取り組んでみたいと思ったか」の問いには、23.0%の方が「思う」と回答した。</li> </ul> <p><b>【その他の自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まだまだわからないことがたくさんありますが、ぜひ活動をはじめたいと思っています。</li> <li>○助け合い活動の必要性について学ぶことができました。介護保険もそうですが、同時に助け合い活動を地域に根付かせていくことが大切だとおもいました。</li> <li>○手助けをする側に立った時に、細かいことに気を付けなければならないことが沢山あり、少し手助けを簡単には引き受けられない思いも感じました。</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支え合いのしくみづくり出前講座については、少しずつ区内に支え合いのしくみづくりの必要性が浸透している実感が得られているため、引き続き、主催者の要望に加え出前講座のメニューの充実・再検討を行い実施する。</li> <li>○助け合いの学校については、アンケート結果からも事業実施効果は大きいことが確認される。講座受講をきっかけに助け合い活動に前向きな受講者もおり、また、これから新たに助け合い活動の開始を検討している団体を後押しするきっかけとしても必要な事業と判断される。次年度以降も北区内で開催ができるよう検討を進める。</li> </ul>

令和元年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。		
	事業名	令和元年度自治・町内会長 地域福祉研修会	
事業目的・対象	<b>【目的】</b> 自治・町内会における世代交流や見守り活動などの推進 <b>【対象】</b> 自治・町内会長、自治・町内会役員等		
開催年月日	①令和元年7月29日(月)午後1時30分～3時30分 ②令和元年8月1日(木)午後1時30分～3時30分		
会場	①豊栄地区公民館 大講堂 ②北地区コミュニティセンター2階大ホール		
参加者数	127名	共催団体	北区健康福祉課
<b>【実施内容・効果】</b> 1. 説明「自治・町内会の組織と運営」 講師 新潟医療福祉大学社会福祉学部 教授 渡邊敏文 氏 2. 北区内の自治・町内会の取り組み事例紹介 事例発表 尾山自治会・松浜東町自治会 3. 情報交換 4. 北区社会福祉協議会、北区健康福祉課による事業説明 参加者からは、「非常に参考になった。当自治会でもできることはやっていきたい」「他の自治会では地域住民参加型の自治会にするためにどのような取り組みをしているのか意見交換ができてよかった。」「日頃の自治会の問題が一部解決のヒントを得ることができて大変よかった」等の声があり、各自治会の抱える課題の解決の一助になるような発表内容であった。また、情報交換においては、他の自治会の話聞きながら、自身の自治会の活動について振り返る機会となり活発な意見交換がされていた。 アンケート結果については、別紙参照。			
			



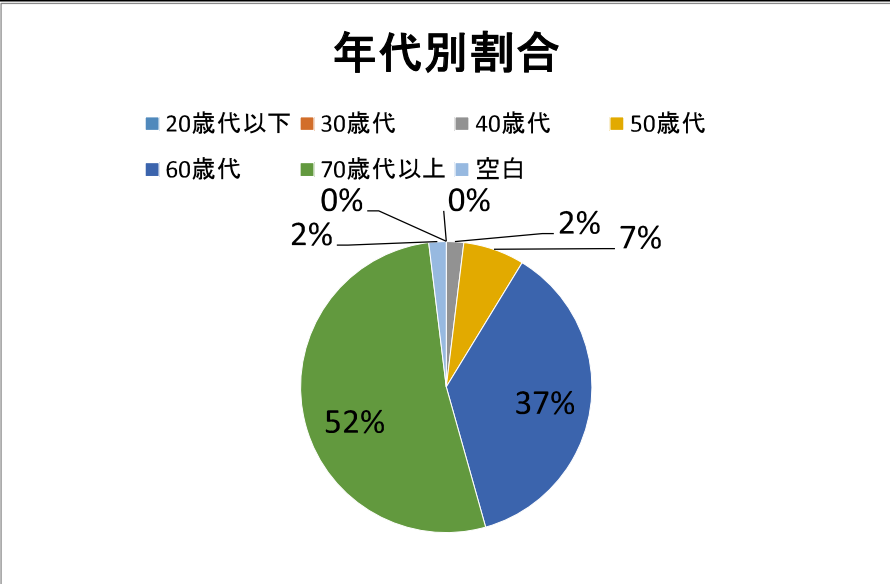
## 【令和元年度 自治・町内会長 地域福祉研修会】

<p>事業の評価</p> <p>参加者の声</p> <p>アンケート結果より</p>	<p><b>【アンケート結果（参考度）より】</b></p> <p>○内容の参考度としては、96%の方が「大変参考になった」「参考になった」と回答した。</p> <p><b>【アンケート結果（自治・町内会の運営上の課題）より】</b></p> <p>○「役員のなり手がいない」が71件と最も多く、次いで「役員の負担」が45件、「高齢化により活動に支障がある」「行政からの依頼事項が多い」「行事・活動等の参加者が少ない」が30件前後と続いている。</p> <p><b>【アンケート結果（自治・町内会の運営上必要な支援）より】</b></p> <p>○「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」が35件と最も多く、次いで「情報の提供」「運営や活動に関する住民の意識啓発」「人材の育成」が25件前後と続いている。</p> <p><b>【アンケート結果（ご意見・ご感想）より】</b></p> <p>○情報交換時間が短かった。研修内容からすれば2時間は必要。</p> <p>○グループは同じ地域にすると良い、地区の説明で時間がかかった。</p> <p>○現時点での問題点は分ったが、5年先の環境、年代の変化への対応。</p> <p>○他の自治会の方と語りあえて大変参考になった。</p> <p>○いずこの自治会も役員のなり手がなく困っている。</p> <p><b>【アンケート結果（次年度の開催内容）より】</b></p> <p>○今回の内容をしばらく続けても良い。</p> <p>○高齢者に対する見守り活動。</p> <p>○防災に関すること。</p> <p>○自治会の運営、住民の協力を得るには。</p> <p>○自治会のボランティアの育成方法。</p> <p>○役員選出の具体案を多数情報提供してほしい。</p>
<p>課題と今後の方針</p>	<p>参考となる他の自治・町内会活動の説明について、区社協があいだに立って研修会での発表や自治・町内会での発表をコーディネートし、更なる研修会の充実を図る。開催の形態としては現状を維持し、アンケート等で明らかとなった自治・町内会の課題、必要な支援から、「今後希望するテーマ」等を参考に、今後も自治会長の困りごとに合った内容で開催していく。</p>

令和元年度 自治・町内会長 地域福祉研修会  
アンケート結果 R1. 7. 29/8. 1

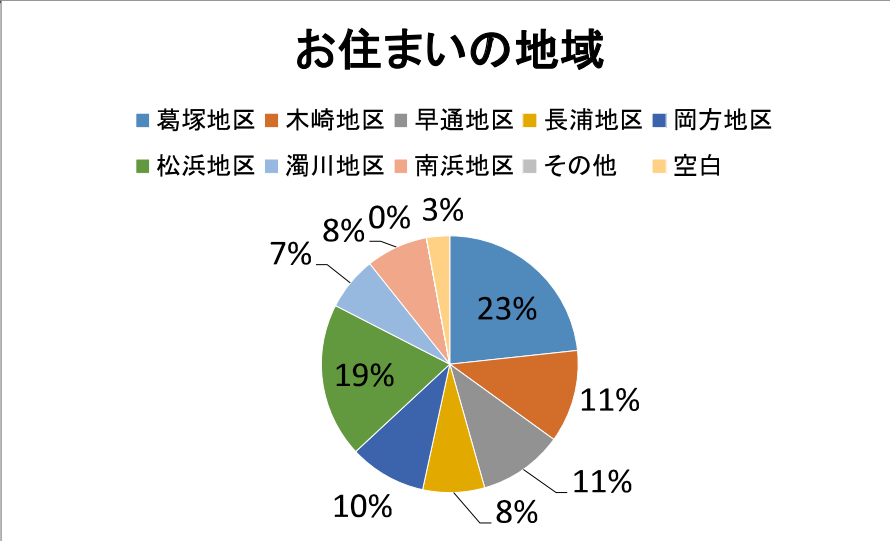
年齢について

項目	値
20歳代以下	0
30歳代	0
40歳代	2
50歳代	7
60歳代	38
70歳代以上	54
空白	2



お住まいの地域について

項目	値
葛塚地区	24
木崎地区	12
早通地区	11
長浦地区	8
岡方地区	10
松浜地区	20
濁川地区	7
南浜地区	8
その他	0
空白	3

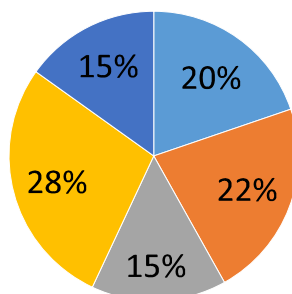


## 自治会役員就任年数

項目	値
1年目	17
2～3年目	19
4～5年目	13
6～10年目	24
10年以上	13

### 自治会役員就任年数

■ 1年目 ■ 2～3年目 ■ 4～5年目 ■ 6～10年目 ■ 10年以上



## 研修会内容について

項目	値
大変参考になった	33
参考になった	63
あまり参考にならなかった	5
空白	2

### 研修会内容について

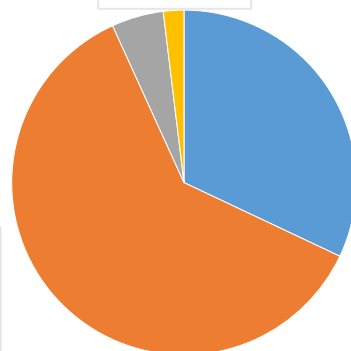
あまり参考  
になら  
なかった  
5%

空白 2%

大変参考  
になった  
32%

参考に  
なった  
61%

■ 大変参考になった ■ 参考になった ■ あまり参考にならなかった ■ 空白



## 研修会時間について

項目	値
長かった	16
ちょうど良い	78
短かった	2
空白	7

### 研修会時間について

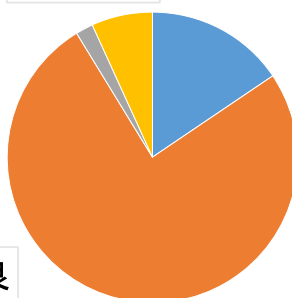
短かった  
2%

空白 7%

長かった  
15%

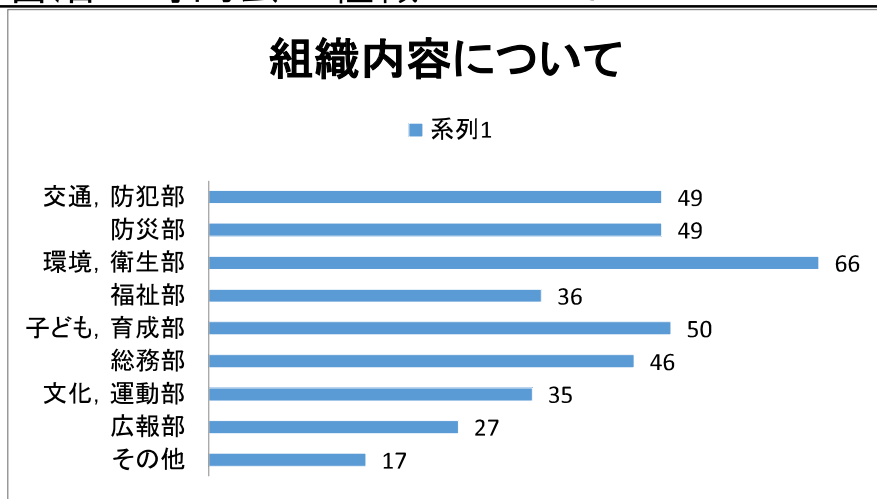
ちょうど良  
い 76%

■ 長かった ■ ちょうど良い ■ 短かった ■ 空白



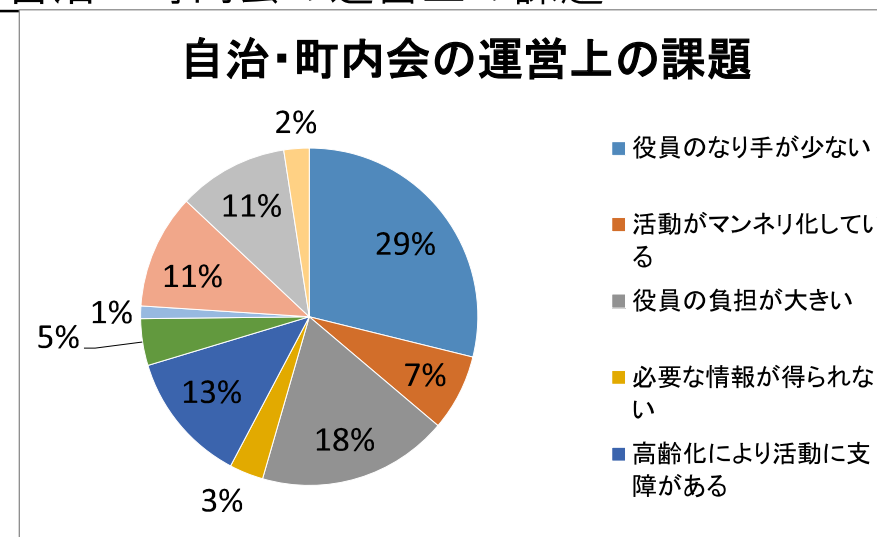
## 自治・町内会の組織について

項目	値
交通, 防犯部	49
防災部	49
環境, 衛生部	66
福祉部	36
子ども, 育成部	50
総務部	46
文化, 運動部	35
広報部	27
その他	17



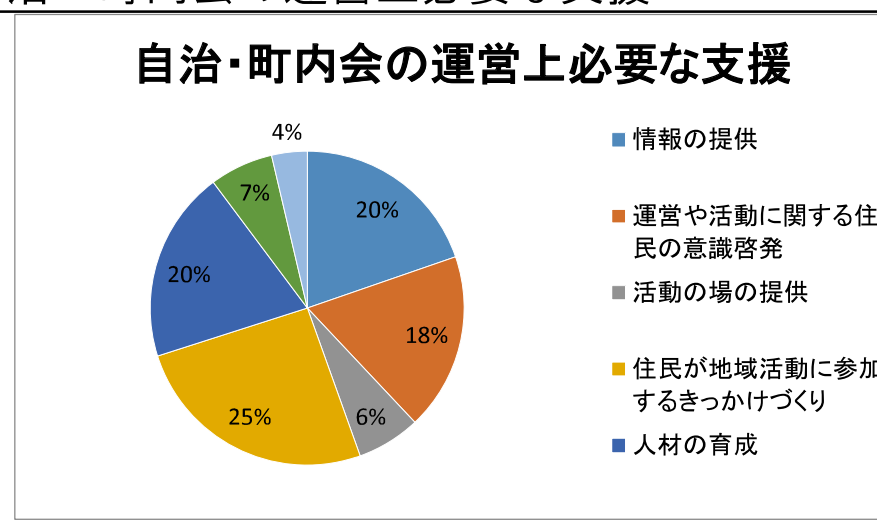
## 自治・町内会の運営上の課題

項目	値
役員のなり手が少ない	71
活動がマンネリ化している	18
役員の負担が大きい	45
必要な情報が得られない	8
高齢化により活動に支障がある	31
自治・町内会の意見の調整が難しい	11
自治・町内会の未加入世帯が増加している	3
行政からの依頼事項が多い	27
行事, 活動等の参加者が少ない	26
その他	6



## 自治・町内会の運営上必要な支援

項目	値
情報の提供	27
運営や活動に関する住民の意識啓発	25
活動の場の提供	9
住民が地域活動に参加するきっかけづくり	35
人材の育成	27
特に支援は必要ない	9
その他	5



## 参加してみたの感想

地域がバラバラで町内の説明だけで時間がたった。  
各自治会で運営面で(取り組み)苦勞をしているなど感じた。  
多少の参考にはなるのか、具体的にどうしたら良いのか本当に困っている事についてはどうかな。  
松浜東町自治会の世帯員調査表アンケートが良いが。  
公園の愛護会の補助金の使い方、私の自治会をいただいています。草刈りが大変で来年より、建設課よりクローバーの種をいただいて、クローバーを全面に育てて出来るだけ草刈りを無くす方法で考えています。  
情報交換時間短かった。  
他の自治会の内容が参考になった。  
情報交換は雑談になってしまいましたが、時間不足でやむを得なかった。(発表が長すぎた)予定時間を大幅に超えての会議は参加者の参加意欲を減退させますよ。  
いずれこの自治会も役員のみ手がなく困っている。  
どこの自治会も同じ様な問題を抱えている事がわかった。  
基調説明では組織の説明よりも運営についてのお話を重点にして頂きたかった。  
各自治会も役員を選出大変のようですね。  
発表の両自治会、大変な活動を良くなっていると感心しました。役員は大変だと感じました。  
研修内容からすれば2時間の研修は必要である。  
グループは同じ自治会にしてもらえれば話がわかりやすかったと思います。  
当初の時間帯をお願いします。(オーバー時間28分)  
他の自治会活動がわかって参考になった。  
他の活動を知ることが出来てよかった。  
自治会の役員はしてませんが茶の間の話は参考になりました。  
尾山自治会さんの具体的な取り組みをご紹介いただき参考になりました。  
他の自治会活動報告を聞いて参考になった。当自治会でもできることはやっていきたい。  
有意義であった。  
松浜東町自治会の運営の仕方が非常に参考になった。私は時間的に余裕のない中悩むところです。  
かなり重点項目を絞ってますが自治会員への説明の方法について研修会を希望します。  
各自治会に共通した課題が多かったと感じますが今日の発表の2自治会の例示は、目、耳が洗われるような素晴らしい成果の発表でした。我々の居住地で果たして出来るか疑問。  
他自治会の取り組み等参考になり良かった。  
活動紹介の2自治会の活発さに驚きました。大変刺激になりました。  
気付かなかったこと等気付かされた。  
違う地域の活動のやり方を聞いて様々なことをやっていて感心した。  
発表内容が充実していた。参考にさせていただきます。ただ発表がやや散漫な時間設定な感じがした。  
神社を管理している自治会もあるんだね。  
横井自治会は36世帯で静かな部落で皆さんのお話を聞かせていただいて会長として難しいことがなく嬉しく思います。  
他の自治会の具体的な活動が聞けて参考になりました。  
活動報告の資料も多く理解が難しかった。発表も長すぎではと思ったが、後半は楽しく聞けました。  
両地域どちらも参考になりました。  
色々と意見交換が出来ました。  
地域の茶の間運営にあたり自治会組織を活用されているという取り組み説明を参考にしていきたい。  
現時点の問題点は分かったが、5年先の環境、年代の変化にどう対応するかを考えてもらいたい。  
他自治会の活動の紹介が興味深く拝聴しました。参考になりました。  
何年参加して話を聞いても大変だと想いました。完璧はないと考えています。  
他の自治会の方と語り合えて大変参考になった。  
他町内の方々のお話を聞く事ができて良かったです。  
参考になった。  
情報交換会があって良かった。各班での進め方をもう少し指導してほしい。  
良かった、何点か問題点があったが聞くことができた。  
他の自治会の活動紹介等参考になった。  
同じ立場の方の話が聞けて良かった。  
他の自治会の活動状況がわかり参考になった。

他の自治会で活気のある自治会はどのようにしているのか？地域住民参加型の自治会にするために  
どんな取り組みをしているのか等意見交換できて良かったです。  
他の自治会の動きが大変良くわかりました。説明ももう少し時間が欲しい。  
参考になり楽しかった。  
質疑応答の時間が欲しい。  
参加してみて他の所は良くやっている事がわかった。  
他町内の活動状況を把握できた。意義ある研修会だと思う。  
日頃の自治会の問題が一部解決のヒントを得て大変良かった。  
他自治会、町内会の運営方法を自治町内会の運営方法と比較し良い点を取り入れて行ければと思った。  
アンケート調査は大変参考になった。  
大変良い研修会でした。他の自治会の様子もわかり大変参考になりました。  
今後の共生社会。  
活動報告情報交換会色々参考になりました。  
参考になることもあった。(自治会の部会の活動等)私の自治会に部会はない。  
大変良かった。  
若い人たちの人間関係などの話も聞きたかった。(自治会町内会などについて)  
祭りによる自治会のつながりを作ることは、効果的であると改めて感じました。神楽の60年ぶりの  
復活はすごいと思います。  
他の自治会の活動紹介は参考になります。  
情報交換に時間があればよかった。  
各自治会の取り組みがよくまとめられていて参考になったと思う。東町の高齢者アンケートからゴミ出し  
支援などについてもまたどこかで紹介されたらよいと感じています。  
各町内の自治会長さんをご苦労をして居る事が大変わかりました。やはり独居の方の見守りなどの  
話が良かったです。  
とても良かった。

## 次年度の自治・町内会長 地域福祉研修会について

新人自治会長だけの研修会を願いたい。  
それぞれの自治会の取り組みで良いと思います。  
今回の内容で良い。  
今の所今回の研修で一杯です。  
グループ討議の時間をもう少し欲しい。  
高齢者に対する見守り活動について。  
今のままで良いと思います。  
相談窓口をわかりやすく説明したパンフレットの作成をお願いします。各世帯へ配布できるもの。  
行政上の助成金の種類と金額、申請手続きの方法、申請窓口。助成金、補助金はいろいろな団体があっても  
使いにくいとか報告書の書き方他が厳しく利用を諦めざるを得なくなる。  
防災に関する事等。  
おまかせです。  
① 自治協議会活動と「コミ協」活動の統合(整合性)組織, 会計を含めた。  
② 地域の神社、地蔵様等との関わり方(公共性と宗教性)「問題にならなければ良い」とするのか。  
様々な自治会の姿を見たい。  
特にない  
多面的に継続するにはもっと短い時間で色々な人の意見や活動を聞きたかったです。  
今回と同じ内容でも良いと思います。  
ワークショップ形式で良いと思う。  
自治会の運営、住民の協力をして頂くには？  
こまっている事などの解決方法など。  
具体的に活気のある町村にするにはどうすれば良いか教えてほしい。(若者が地元を離れて人が減っていく)  
他の自治会との意見交換の場  
今回と同じ様な説明をしたほうが良い。プリントもあったほうが良い。  
グループ同士の話し合いが大変良かった。もう少し時間が欲しい。  
今年度と同じで自治会の活動報告で良いのでは？  
地域の茶の間の催しの実態。

今回の内容で暫く続けても良いと思う。

自治会のボランティア活動の育成方法の助言。

高齢者(要援護者を含む)の方たちへの支援方法, 内容等の進め方。

役員選出の具体案を多数, 情報提供してほしい。

防犯防災活動の取り組みについて。


自治会活動のあり方, 方法等。

高齢者に関する情報説明をもっと教えて欲しい。(特に一人暮らしについて)

自治会内での① 住民の理解を得るための取り組み② 防災・支えあいの為の個人情報の取り扱い, この2点がグループワークで議題に挙がっていました。

北区役所, 出張所の地域状態。




特にない。


令和元年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	サマーチャレンジボランティア 2019	
事業目的・対象	<p>【目的・効果】</p> <p>①学生が地域活動や福祉の現場を直接知るとともに、福祉やボランティアに関心を持つ機会とする。</p> <p>②ボランティア体験により、参加者が自分も社会の一員であることを自覚し、また、自己有用感・自己肯定感につなげる。</p> <p>③学生の受け入れを通して、福祉施設や団体等が地域の社会資源であることを意識し、地域貢献につながるようなきっかけづくりとする。</p> <p>【対象】高校生・専門学生・短大生・大学生</p>		
開催年月日	<p>①(チャレンジ期間) 令和元年7月29日(月)～8月30日(金)</p> <p>②(開校式) 令和元年7月19日(金)・20日(日)</p> <p>(閉校式) 令和元年8月31日(土)</p>		
会場	①各区活動先 ②新潟市総合福祉会館 大集会室		
参加者数	192名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】</p> <p>[なぎさの里] (夏祭り手伝い) : 8月5日(1人)、6日(1人)</p> <p>[新潟北愛宕の園] (施設内カフェ手伝い、他) : 8月6日(1人)、10日(3人)</p> <p>[江風苑] (レクリエーション、整容、散歩同行、他) : 8月7日(2人)</p> <p>[ドリーム] (清掃、洗濯等の就職訓練体験) : 8月9日(1人)</p> <p>[老人デイサービスセンターさわやか] (話し相手、整容、他) : 8月10日(1人)</p> <p>[ピンポン] (見守り、遊び相手、他) : 8月13日(2人)、8月17日(2人)</p> <p>[リビングサポートはやどおり] (夏祭り手伝い等) : 8月13日(1人)、17日(3人)</p> <p>[グループホームはやどおり] (レクリエーション) : 8月20日(1人)</p> <p>[松潟の園] (調理レク) : 8月23日(1人)</p> <p>○北区在住者の応募が10人あり、そのうち北区内での活動者は4人であった。また、北区内の学校からの応募は1校のみで、他区の在住者だった。</p> <p>○北区では9施設からエントリーがあった。全体の参加者が、昨年の121人から192人に大幅に増えたせいか、すべての施設で希望者があった。エントリーしても参加者がいないことから、年々数が減ってきていたので、来年度以降のエントリーに希望が持てる結果となった。</p>			
			



## 【サマーチャレンジボランティア2019】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【参加者アンケート結果より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者の95%が「今後も何か（ボランティアを）してみたい」と回答している。</li> <li>○普段の生活では出会えない多くの人との交流に刺激を受け、感動し、自分自身の有用感を実感している学生が多く、今後の活動においても様々な方と関わられる活動を希望する学生が多かった。</li> <li>○活動メニューを多く、多種多様に用意することで、学生のやりたいことを引き出せている様子が伺える。</li> </ul> <p><b>【受入施設アンケート結果より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○86.8%の施設が「利用者に良い効果があった」と回答している。今後も受け入れを歓迎する声が多くあった。</li> <li>○施設利用者様、職員にとって「外の風」という意味で刺激になった。</li> <li>○この仕事に少しでも興味のある学生を受けることによって、職員の意識が変わる。</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年度は、エントリーした受け入れ9施設全てに参加者をコーディネートすることができた。全体の登録学生数が多かったことが一因と思われる。</li> </ul> <p><b>【今後の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北区在住の参加者、北区での活動を希望する学生を増やすこと。</li> <li>○体験に勝る学びはなく、ボランティア活動が持つ力で若い人の心を育てる当事業を継続していきたい。</li> </ul>

令和元年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	ボランティアきっかけづくり講座	
事業目的・対象	<b>【目的・効果】</b> ボランティアの基礎的な知識や必要な技術を学び、活動に参加するきっかけの機会とする。 <b>【対象】</b> ボランティア活動に関心がある人		
開催年月日	<b>【1日目】</b> 令和元年7月23日（火）午後1時30分～3時30分 <b>【2日目】</b> 令和元年7月30日（火）午後1時30分～3時30分		
会場	①北区豊栄健康センター ②岡方コミュニティセンター		
参加者数	20名	共催団体	
<b>【実施内容・効果】</b> [1日目]・講話「ボランティアとは」 ・体験「車いす利用者のサポートについて」 「聴覚障がい者のサポートについて」 「視覚障がい者のサポートについて」 [2日目]・体験「絵と手紙」 ・活動紹介 ○半数以上が元気力アップサポーターの参加となった。サポーター登録は行ったが自信がなく、何をしたらよいかわからないという声が聞かれた。今後もボランティア講座や交流会の案内を行い、ボランティア活動の参加への一助としたい。 ○今回は、「区だより」「社協だより」を見ての参加申込みはなかった。ボランティアについての基本的な講座を開催するためには、内容も広報の方法も、より工夫が必要だと感じているが、どのように行えばよいか課題である。 ○講師が講話時間以外は受講者となり、勉強になったとの言葉をいただいた。すでに活動をしていても、自身が行っている活動以外のことはわからないということは案外多いと感じた。既存の活動しているグループに対しても、積極的に広報したい。 ○お茶の間を運営するボランティアスタッフが参加し、茶の間での活動の材料探しをしており、絵と手紙は茶の間で楽しめるメニューとなった。			
			
			

令和元年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	ボランティア テーマ別講座 ～知的障がい・発達障がいのある人を理解し共に地域で暮らす～	
事業目的・対象	<p>【目的】 知的障がいや発達障がいのある人達の特性や困りごとを知り、身近な地域の住民として温かく見守ることができるよう、理解を深めることを目的として開催する。</p> <p>【対象】 関心がある人</p>		
開催年月日	<p>①令和元年12月 9日(月) 午後1時30分～3時30分</p> <p>②令和元年12月16日(月) 午後1時30分～3時30分</p>		
会場	①豊栄さわやか老人福祉センター ②北区豊栄健康センター		
参加者数	6名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】</p> <p>①講 話「知的障がいの特性や困りごとを知るなど、基本的なことを学ぶ」  (講師) 小池 貴之 氏 (障がい者自立訓練(生活訓練)ドリームカレッジ 管理者)  体験談「ふれジョブ等の活動を通して」  (発表) 八木 千秋 氏 (ふれジョブきた 代表)  茶話会「自由な情報交換と交流」</p> <p>②講 話「発達障がいの特性や困りごとを知るなど、基本的なことを学ぶ」  (講師) 石橋 一 氏 (新潟県若草寮 寮長)  茶話会：自由な情報交換と交流</p> <p>○平成30年度の運営委員会で協議を行い、運営委員から講師としての協力を得て、企画段階から講師と検討を重ねての実施となった。</p> <p>○「障がいの特性と対応の仕方を知る」という内容を期待しての参加者が多かった。特に発達障がいについて理解したいという声が半数以上だった。</p> <p>○9日の体験談は、当事者と共に生きる親の思いが参加者に伝わり、その後の茶話会は和やかなものとなった。当事者や支援者の声が人の心に深く伝わると実感した。</p> <p>○知的障がいや発達障がいのある人を理解し見守る人たちが、地域の中に増えるように、来年度以降も継続して開催できるとよい。</p>			
			

## 【ボランティアきっかけづくり講座】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【内容・時間等について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○内容に関する問いに対して、95.1%が参考になったと回答している。</li> <li>○開催時間は、ちょうど良いという回答が74%だった。短期間、短時間の設定が参加しやすいようだが、内容によっては短く感じる方もいる。</li> <li>○様々な体験を通じた講座が参考になったという意見が多かった。</li> <li>○初めて設定したテーマ別講座では、「知的障がい」「発達障がい」を取りあげた。</li> <li>○専門的で難しいという意見の反面、とても勉強に成ったとの感想があった。</li> </ul> <p><b>【今後やってみたい活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○手話をおしえてもらい興味が出た。</li> <li>○地域の茶の間の参考にできたら。</li> </ul>
<p>課題と今後の方針</p>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本講座に関して、紙媒体での周知に応じての参加者はいなかった。広報周知方法について、抜本的に見直す必要がある。</li> </ul> <p><b>【方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティアカフェ参加者が講座にも参加し、楽しい時間を過ごせたと喜んでいた。ボランティア活動に興味を持っているようなので、今後も丁寧に話しを聞くなど対応を継続していく。</li> <li>○テーマ別講座は、初めての試みであったが、大変勉強になった、良かったとの声が多かった。令和2年度も、ボランティア・市民活動センター運営委員の協力の元、講座を企画していく。</li> </ul>

令和元年度北区社会福祉協議会主要事業				
基本目標 2		助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2		福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	令和元年度地域福祉座談会		
事業目的・対象		<p>【目的】「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2015」に掲げた地区別計画の推進を図るため、日常の生活圏域において広く地域の声を集め、取り組むべき課題を整理し、共通の理解を深める。</p> <p>※北区地域福祉計画・活動計画の実施計画に基づき、北区健康福祉課との共催により実施。</p>		
<p>【実施内容】</p> <p>「地区別課題の振り返り」と「取り組みの現状確認」について</p> <p>① 平成30年度座談会および支え合いのしくみづくり会議での地区別課題の共有</p> <p>② 各地区の取り組みの現状の確認</p> <p>「課題に対する取り組みの検討」</p> <p>③ 地区別課題解決のため、自分たちに何ができるか取り組みの具体化</p>				
地区	開催日	会場	参集者	参加人数
松浜	12月5日 (木)	北出張所 3階 ホール	コミ協役員・事務局、自治振興会役員 民生児童委員、松浜ふれあい会 計画推進委員、地域包括支援センター、 2層SC、北区健康福祉課	20名
南浜	11月29日 (金)	南浜公民館 2階 ホール	コミ協役員・事務局、区長（自治会長） 民生児童委員、計画推進委員 地域包括支援センター、2層SC、 北区健康福祉課	18名
濁川	12月4日 (水)	濁川公民館 2階 ホール	コミ協役員・福祉部員・事務局、 自治会長、育成協、社会教育推進委員会、 小中学校PTA、計画推進委員、 地域包括支援センター、2層SC、 北区健康福祉課	22名
葛塚	11月28日 (木)	葛塚コミュニ ティセンター 1階 研修室 A	コミ協会長・副会長・福祉部 正副部長・事 務局、民生児童委員、計画推進委員、地域包 括支援センター、2層SC、北区健康福祉課	18名
木崎	12月11日 (水)	木崎コミュニ ティセンター 1階 ホール	コミ協役員・事務局、自治会長、 民生児童委員、計画推進委員、 地域包括支援センター、2層SC、 北区健康福祉課	22名
岡方	12月20日 (金)	岡方コミュニ ティセンター 1階 ホール	コミ協役員・委員（自治会長、民生児童委員 等）事務局、計画推進委員、 地域包括支援センター、2層SC、 北区健康福祉課	40名

長浦	12月10日 (火)	長浦コミュニティセンター 1階 会議室	コミ協役員（自治会長、民生児童委員）、 事務局、計画推進委員（欠）、 地域包括支援センター、2層SC（欠）、 北区健康福祉課	11 名
早通	11月6日 (水)	早通コミュニティセンター 2階 講堂	コミ協役員・事務局、 民生児童委員、計画推進委員、 地域包括支援センター、2層SC、 北区健康福祉課	13 名
合 計				164 名

[参考] 平成30年度 198名

## 【平成30年度 地域福祉座談会】

<p>事業の評価 参加者の声 アンケート結果 より</p>	<p><b>【事業実施方法】</b> 次期計画策定に向けた、地域福祉座談会の実施予定</p> <table border="1" data-bbox="432 367 1401 658"> <tr> <td data-bbox="432 367 699 465">平成30年度 地域福祉座談会</td> <td data-bbox="699 367 1401 465"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の取り組みに対する振り返り</li> <li>・現状の課題の整理、検討</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 465 699 564">令和元年度 地域福祉座談会</td> <td data-bbox="699 465 1401 564"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 564 699 658">令和2年度 地域福祉座談会</td> <td data-bbox="699 564 1401 658"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>○令和元年度は、平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討するために、地区別評価シートを作成。現計画の課題と取り組みに対して、現在コミ協や自治・町内会で行われている取り組みの評価を実施。</p> <p>○進め方として、座談会開催までに2回各地区地域代表との打合せを実施。 ⇒1回目打合せ：座談会の進め方、日程、参集者 ⇒2回目打合せ：地区別評価シートについてを作成</p> <p>○座談会本番では、地区別評価シートを基に課題の共有と取り組みの現状確認を行い、課題に対する取組みを検討した。各地区の「具体的な取り組みの方向性」をとりまとめ。</p> <p>○参加者からは、座談会本番の前に丁寧に各地区代表と打ち合わせを重ねたことに評価をいただき、地区別評価シートに各地区の取り組みを落とし込み、自己評価することにより、地域福祉計画・地域福祉活動計画と各地区の既存の取り組みがリンクし、今後の取り組みの方向性も明瞭にわかった、との声をいただいている。</p>	平成30年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の取り組みに対する振り返り</li> <li>・現状の課題の整理、検討</li> </ul>	令和元年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討</li> </ul>	令和2年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認</li> </ul>
平成30年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の取り組みに対する振り返り</li> <li>・現状の課題の整理、検討</li> </ul>						
令和元年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に出された地区別課題に対する取り組みの検討</li> </ul>						
令和2年度 地域福祉座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認</li> </ul>						
<p>課題と今後の方針</p>	<p>○令和2年度は、平成30・令和元度を踏まえての地区別課題に対する取り組みの方向性のまとめ・確認を実施する。</p> <p>○昨年度とりまとめた、各地区の「具体的な取り組みの方向性」を基に、地区別計画を取りまとめていく。</p> <p>○次期計画策定後も、地区別評価シートを作成・更新作業を座談会の主テーマに据えることにより、計画と各地区の活動のリンクを更に図り、計画を推進していく。</p>						